

平成29年度 津久見市学力調査

1 調査の概要

- (1) 実施期日 平成30年1月11・12日(木・金)
- (2) 調査対象学年 小学校1～6年生 中学校1・2年生
- (3) 調査内容 ◆教科 小学校 1・2年生 国語 算数
3～6年生 国語 社会 算数 理科
中学校 国語 社会 数学 理科 英語
- (4) 調査目的 今年度の学習を振り返り、それぞれの学年・教科の課題を明らかにし、補充学習等を実施することで児童生徒の更なる理解を深める

2 結果の概要(数値は偏差値 全国値は50)

小学校	国語	社会	算数	理科
1年生	53.5		55.1	
2年生	52.6		55.9	
3年生	51.8	51.0	51.3	53.7
4年生	51.7	50.3	53.3	49.9
5年生	53.0	50.1	56.2	52.4
6年生	52.2	50.7	54.1	51.5

中学校	国語	社会	数学	理科	英語
1年生	48.1	48.8	52.0	47.8	50.1
2年生	50.6	50.0	51.5	49.5	49.1

3 結果分析

【小学校】

○国語・社会・算数については、全ての学年で全国値(偏差値50)を超えている。

▲理科の観察・実験の技能がやや低い傾向がある。

【中学校】

○数学がどの領域においても概ね全国値(偏差値50)を超えている。

○国語・英語の「書く力」については高い傾向にある。

▲活用力に課題がある。

- ・小・中共に「書く力」が高い傾向にあり、言語活動を大切にした授業の成果が見られる。
- ・一問一答のような記憶力を頼りにするのではなく、複数の情報や知識をもとに考える力が必要とされており、課題を設定して問題を解決していくような授業を多く設定していくことが必要。